

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名	株式会社JFLAホールディングス	上場取引所	東
コード番号	3069	URL	https://www.j-fla.com/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	檜垣 周作
問合せ先責任者	(役職名) 広報・IR・CSR室長	(氏名)	馬場 康尚 (TEL)03-6311-8892
四半期報告書提出予定日	2019年8月13日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,856	74.4	212	693.7	130	—	42	—
2019年3月期第1四半期	11,386	14.2	26	△92.6	△200	—	△249	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2百万円 ( —%) 2019年3月期第1四半期 △227百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.03	—
2019年3月期第1四半期	△8.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	57,795	10,471	17.3
2019年3月期	57,787	10,636	17.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,994百万円 2019年3月期 10,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	27.5	870	222.2	380	—	160	—	3.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	41,929,936株	2019年3月期	41,929,936株
2020年3月期1Q	16,540株	2019年3月期	14,813株
2020年3月期1Q	41,914,565株	2019年3月期1Q	30,894,329株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続く一方で、米中間の通商問題が世界経済へ与える影響などから、先行き不透明な状況となっております。外食及び食品生産業界においては、消費者の強い節約志向に加え、慢性的な人手不足による人件費や物流費の上昇などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下で、当社グループは「食のバリューチェーンのグローバルリーディングカンパニー」を目指し、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題へ積極的に取り組み、国内外において事業規模の拡充により、販売・流通・生産の3機能が相互に価値を発揮する事業ポートフォリオの構築に努めてまいりました。

2019年3月期の業績を踏まえ、2019年5月15日付「経営改善に向けた取り組みに関するお知らせ」で公表したとおり、グループ各社において事業改善にむけた取り組みを行っております。販売事業では新規出店や既存店の収益改善を図っており、その中でタピオカドリンク専門店「瑪蜜黛（モミトイ）」では、2019年2月に直営店を出店して以降、8月までに合計19店舗（フランチャイズ店含む）まで増加する予定です。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、前期子会社化したジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社（以下「JFLA」と言います。）や株式会社十徳の通期貢献などが主要因となり19,856百万円（前年同四半期比74.4%増）となりました。営業利益は212百万円（前年同四半期比693.7%増）、経常利益は130百万円（前年同四半期は経常損失200百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失249百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①販売

当第1四半期末の店舗数は840店舗（前年同四半期比31店舗の減少）となりました。内訳は、直営店219店舗（前年同四半期比14店舗の減少）、フランチャイズ店621店舗（前年同四半期比17店舗の減少）となります。タピオカドリンク専門店「瑪蜜黛（モミトイ）」5店舗や焼肉「牛角」4店舗を含め合計18店舗増加いたしました。ブランドリストラクチャリングを進めた結果、釜飯串焼「とりでん」9店舗やラーメン業態など合計49店舗が減少いたしました。株式会社アスラポートは店舗減などにより減収となりましたが、経費見直しや業務改善などが主要因となり増益となりました。株式会社アルテゴは、前述の「瑪蜜黛（モミトイ）」のエリアFC権の譲渡や直営店が堅調に推移した結果、増収増益となりました。経営改善中の株式会社十徳、株式会社菊家、フランスRiem Becker SASなどを含め、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,274百万円（前年同四半期比16.7%増）、営業利益は55百万円（前年同四半期は営業損失39百万円）となりました。

#### ②流通

海外では、英国の子会社（AFLグループ）において人材採用を中心とする経営改善費用が増加するなど経営改善中のため減収減益となりました。国内では、JFLAの子会社である輸入食品類酒類販売の株式会社アルカンや業務用総合食品商社の東洋商事株式会社などが加わっております。以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,725百万円（前年同四半期比403.6%増）、営業損失は70百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

#### ③生産

九州乳業株式会社において、燃料費や電力料などの製造経費や物流費が上昇しましたが、価格改定が寄与したことや、主要な問屋・量販店・ドラッグストア向け牛乳類、ヨーグルト、豆乳などの販売が堅調に推移したことにより増収増益となりました。茨城乳業株式会社も、価格改定が寄与したことや、前期発売したレアチーズヨーグルトや常温ゼリーの取り扱い企業の増加及びPBプリン、ヨーグルト類の販売が堅調に推移した結果、増収増益となりました。JFLAの子会社である食品類酒類メーカーの盛田株式会社などが加わった影響もあり、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,845百万円（前年同四半期比74.9%増）、営業利益は319百万円（前年同四半期比79.3%増）となりました。

#### ④その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第1四半期連結累計期間における売上高は11百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は4百万円（前年同四半期比62.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は57,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。

負債合計は、47,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ、173百万円増加いたしました。これは主に、借入金が327百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が490百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は10,471百万円となり、前連結会計年度末と比べ165百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円の計上、剰余金の配当167百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は17.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,684,745	7,174,602
受取手形及び売掛金	10,251,201	10,527,721
商品及び製品	4,138,656	4,524,841
仕掛品	2,300,411	2,176,549
原材料及び貯蔵品	1,134,659	1,255,135
その他	1,882,785	1,914,167
貸倒引当金	△259,224	△268,219
流動資産合計	27,133,235	27,304,797
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,460,438	9,463,677
その他(純額)	9,149,918	9,021,509
有形固定資産合計	18,610,356	18,485,186
無形固定資産		
のれん	5,946,358	5,774,933
その他	245,779	241,558
無形固定資産合計	6,192,138	6,016,492
投資その他の資産		
その他	7,469,472	7,606,788
貸倒引当金	△1,629,338	△1,628,564
投資その他の資産合計	5,840,134	5,978,224
固定資産合計	30,642,629	30,479,902
繰延資産	11,664	10,692
資産合計	57,787,528	57,795,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,924,068	7,414,509
短期借入金	13,759,848	14,529,600
1年内返済予定の長期借入金	4,638,159	4,522,992
未払法人税等	191,350	162,020
賞与引当金	76,500	61,919
店舗閉鎖損失引当金	6,830	4,810
その他	5,139,428	5,191,922
流動負債合計	30,736,187	31,887,775
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	10,430,001	9,448,152
債務保証損失引当金	65,570	65,372
退職給付に係る負債	902,236	894,514
資産除去債務	1,106,632	1,100,519
その他	3,109,928	3,127,816
固定負債合計	16,414,369	15,436,375
負債合計	47,150,556	47,324,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,910,363	2,910,363
資本剰余金	8,222,242	8,222,234
利益剰余金	△389,954	△514,625
自己株式	△6,777	△7,419
株主資本合計	10,735,873	10,610,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△228,529	△238,151
為替換算調整勘定	△318,214	△314,150
退職給付に係る調整累計額	△56,562	△63,346
その他の包括利益累計額合計	△603,305	△615,648
新株予約権	6,680	6,680
非支配株主持分	497,724	469,657
純資産合計	10,636,972	10,471,241
負債純資産合計	57,787,528	57,795,392

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,386,405	19,856,921
売上原価	7,681,401	13,636,084
売上総利益	3,705,003	6,220,837
販売費及び一般管理費	3,678,249	6,008,490
営業利益	26,754	212,346
営業外収益		
受取利息	4,258	5,664
受取配当金	109	3,793
為替差益	—	54,007
その他	38,999	41,028
営業外収益合計	43,367	104,493
営業外費用		
支払利息	40,885	132,312
持分法による投資損失	118,167	9,980
その他	111,987	44,385
営業外費用合計	271,041	186,678
経常利益又は経常損失(△)	△200,919	130,161
特別利益		
固定資産売却益	72	192
受取保険金	—	22,642
原状回復負担金等収入	5,000	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	5,390	—
その他	504	14,005
特別利益合計	10,967	36,840
特別損失		
固定資産売却損	—	53
固定資産除却損	13,135	2,498
災害による損失	15,092	—
その他	16,253	12,368
特別損失合計	44,480	14,920
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△234,432	152,081
法人税、住民税及び事業税	33,670	115,300
法人税等調整額	27,965	21,666
法人税等合計	61,635	136,967
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296,068	15,114
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,060	△27,875
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△249,007	42,989

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296,068	15,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146,283	△9,766
為替換算調整勘定	△73,544	4,058
退職給付に係る調整額	—	△6,784
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,823	△46
その他の包括利益合計	68,915	△12,539
四半期包括利益	△227,152	2,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179,285	30,641
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,866	△28,066

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。